

第 27 回 生活習慣病教室

「古くて新しい不整脈～心房細動～」

■日 時：平成 24 年 9 月 25 日（火） 14 時半～15 時半

■場 所：牛久愛和総合病院 B 館 2 階大ホール

■講 師：内科部長 阿部 正宏

心房細動ってどんな病気？

心房細動とは、不整脈のひとつです。

不整脈とは、様々な要因から洞結節で発生する電気信号やそれを心臓全体に伝える経路に異常が生じて、心臓が規則正しく鼓動できなくなった状態のことをいいます。

なかでも「心房細動」は、心房が痙攣するようにとても小刻みに震えて、規則正しい心房の収縮ができなくなった不整脈です。心房細胞そのものはただちに命を脅かすものではありませんが、心房内に血のかたまり（血栓）ができて脳梗塞の原因になったり、心臓の機能が低下して心不全を起こす可能性があります。

原因

1. 加齢（65 歳くらいからなる人が多い）
2. ストレス
3. 不規則な生活
4. 他の病気（高血圧、糖尿病、甲状腺機能亢進症など）

どんな検査があるの？

●心電図検査

心電図検査とは、心臓に流れる電気信号を波形として記録するものです。心房細動があると、波形が不規則になり、通常はみられない細かな波（細動波）があらわれます。

●心エコー検査

心エコー検査は、超音波を使って体の外側から心臓の様子を観察するものです。心臓のかたちや機能、血液の流れの異常などをみつけることができます。X 線（レントゲン）と違って被爆の心配がないのでくり返し行うことができ、苦痛も伴いません。

治療法は？

1. 心房細動以外の病気の治療や生活習慣の改善
2. 脳梗塞の予防
3. 心房細動そのものの治療

抗血栓療法

ワルファリンと抗血小板薬などといった血液をサラサラにする薬を使います。脳梗塞の予防をします。心房細動の脳梗塞以外の脳梗塞には、アスピリンは予防に有効です。しかし心房細動の脳梗塞の予防にはアスピリンはききません。出血が多くなるので、アスピリンの投与は危険なのでやってはいけません。

自覚症状が強い人で薬を使わない場合は、カテーテルアブレーションというものがあります。初回治療での完治は約 70%ですが、必ずしも抗凝固療法を止められるとは限りません。また、稀に重篤な合併症を来たす事もあるので施行には注意が必要です。

[過去の「生活習慣病教室」はこちら](#)